

鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂の方針

改訂の必要性・方針

新型コロナウイルス感染拡大による市民生活や地域経済への甚大な影響やDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進、脱炭素社会の構築に向けたゼロカーボンシティ宣言など、今後の行政運営の方向性に大きな影響を及ぼす社会情勢の変化が見られた。

また、国においても新型コロナウイルス感染症の急激な拡大の影響を踏まえ、当面の地方創生の進め方について令和2年12月に「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂を行ったところである。

よって、鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略についても、改訂された国の総合戦略を勘案するとともに、これら社会情勢の変化に対応する必要があるが、令和2年度から令和6年度までの5ヶ年を計画期間とする現総合戦略は令和3年度で2年目にあたることから、次の5つの観点に絞り込んだ改訂を行うこととし、これまでの総合戦略の基本的方向性については引き続き踏襲するものとする。

- ① 新型コロナウイルス感染症拡大によって明らかになった課題や新しいトレンドを勘案し、ウィズコロナ・アフターコロナ時代を見据えた戦略の見直し・強化および成果指標の再構築
- ② DXの推進を図り、最高の行政サービスを提供し利便性の向上に向けた取組みの追加記載
- ③ 脱炭素社会の実現に向け、地域経済・まちづくり・環境等の課題に一体的・重点的に取り組み、持続可能な社会を目指す取組みの追加記載
- ④ 特に注力して取り組む2つの観点（育てやすい暮らしやすいまちづくり・みんな輝く市民活躍のまちづくり）の追加記載にあたり、横断的取組みの見直し
- ⑤ この他、令和4年度当初予算編成における新規および拡充事業の追加や事業の時点修正および文言の修正